

回り道や遠回りしても、 努力し続ければ必ず夢に近づきます

筒井 睦 九州看護福祉大学看護福祉学部口腔保健学科講師

いったん就職したあと 大学に社会人入学

大学受験シーズンを迎えた時、就職に有利な分野『歯科衛生士養成課程』のある専門学校を選択し、進学しました。専門学校を卒業後、大学病院で歯科衛生士として勤めたのですが、1年くらい経った時にふと「大学でもう一度この分野を深く学んでみたい」という思いが強まったのです。それと同時に、幼い頃に描いていた「教員への夢」も思い出しました。

その思いを父に伝えたとこ、**「今年(その年のこと)は、酉年。大きく羽ばたいてみたらどうか」と**大学進学を応援してくれたのです。父の言葉に勇気もらい、仕事と学生を両立できるよう社会人大学生の道を進み、今に至っています。

現在は主に、障がい児・者の方の口腔の健康を通して生活支援ができるよう、その対応方法(訓練方法や機能的口腔ケアのあり方など)について研究しています。例えば、障がい児・者の方の対応方法として、彼らが自分の気持ちをうまく説明できない場合、



一般にはあまり知られていない「障害者歯科」ですが、ご家族とともに焦らず、歯科診療だけでなく「遊び」を取り入れながら支援しています

その時の気持ちを色で表現できるかどうか……など、特別支援教育現場での機能的口腔ケア方法の研究を進めています。

夢は諦めないこと。 夢に一步步近づいて

自分の仕事への誇り、使命感、研究の面白さゆえに、ついつい時間を忘れて仕事に没頭してしまうことがあります。ワークバランスのための社会的環境づくりという意味では、私自身上手にできていないかもしれませんが、しかし、人との縁や出会いを大切にしつつ、そして時間ができたら旅行に行ったり、自宅のある大阪でくつろいだり、適度にリフレッシュをしながら、公私のメリハリをつけています。

これから研究者や専門職を目指す方として女子学生のみなさんへは「自分の夢を諦めないで」とお伝えしたいです。私も、さまざまな経験を経て、**幼い頃の夢「先生になること」**を実現させました。回り道や遠回りしても、努力していれば必ず一步步その夢に近づくことはできます!



歯科衛生士が単に歯科医のアシスタントというだけでなく、もっと幅広い職域であることも伝えたいと考えています



Mutsumi TSUTSUI

大学教員
② (障害者歯科学)
小児歯科学
→ 障害児教育 ↓ 博士課程
→ 文学部 ↓ 修士課程
→ 大学病院勤務
① ② ③ ④
⑤ ⑥ ⑦ ⑧
⑨ ⑩ ⑪ ⑫
⑬ ⑭ ⑮ ⑯
⑰ ⑱ ⑲ ⑳
㉑ ㉒ ㉓ ㉔
㉕ ㉖ ㉗ ㉘
㉙ ㉚ ㉛ ㉜
㉝ ㉞ ㉟ ㊱
㊲ ㊳ ㊴ ㊵
㊶ ㊷ ㊸ ㊹
㊺ ㊻ ㊼ ㊽
㊾ ㊿

One day

6:30 起床
8:00 大学へ
講義・研究指導・論文
会議など
21:00 帰宅
25:00 就寝

常に
学ぶことを
忘れないこと!
が大切です

◎宝もの
人との縁、出会い
◎リフレッシュ方法・落ち着く場所
旅行・自宅(大阪)のお風呂

profile

つついむつみ / 1979年大阪歯科大学歯科衛生士専門学校卒業。大阪歯科大学附属病院で歯科衛生士として勤務しながら、1986年立命館大学文学部人文学科、2003年京都教育大学大学院教育研究科修士課程(障害児教育)修了、2009年新潟大学大学院歯医学総合研究科口腔健康科学講座博士課程(小児歯科学分野)修了。2010年から現職。



Q.能力的な男女の性差についてのご意見

- 基本的には差はないが、女性の方が最終目標を低く設定せざるをえないケースが多い
- 細かい作業や、締め切りを守るなどの点については女性研究者の方が優れている